

## COP27 実地のジャパン・パビリオンにおける採択技術一覧

番号	採択技術	事業者名 (五十音順)
1	気候変動を観測する衛星・リモートセンシング技術	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
2	カーボンニュートラル社会を実現する JCM 廃棄物処理プロジェクト	JFE エンジニアリング株式会社
3	放射冷却素材 (SPACECOOL®)	SPACECOOL 株式会社
4-1	T-eConcrete®/Carbon-Recycle	大成建設株式会社
4-2	T-Green® Multi Solar	
5-1	超軽量小型大出力超電導モータ ～モビリティ分野の脱炭素化に貢献～	東芝エネルギーシステムズ株式会社/ 株式会社東芝
5-2	Power to Chemicals (P2C) ～「CO <sub>2</sub> 電解技術」で CO <sub>2</sub> を資源に！～	
6	ガス化による廃プラスチックからの水素製造	日揮ホールディングス株式会社
7	食料安全保障の確立に寄与する気候変動対応技術	農林水産省
8	RE100 ソリューション	パナソニックホールディングス株式会社
9	高圧直流送電、水素・ハイブリッドトレイン	日立グループ
10-1	水素ガスタービン	三菱重工業株式会社
10-2	CCUS バリューチェーン	

※10 事業者の 13 技術を選定。複数技術が選定されている事業者においては、今後、展示スペースを踏まえて実際に展示する技術を決定する予定。

## COP27 ヴァーチャル・ジャパン・パビリオンにおける採択技術一覧

番号	採択技術	事業者名 (五十音順)
1	電気透析浄水システム	AGC 株式会社
2	RuleWatcher	株式会社オシンテック
3	生分解性バイオポリマー (Green Planet)	株式会社カネカ
4	カーボンリサイクル	一般社団法人カーボンリサイクルファン ド
5	グリーンスローモビリティ	公益財団法人交通エコロジー・モビリ ティ財団
6	GOSAT シリーズプロジェクト	国立研究開発法人国立環境研究所
7	ReseamST®	株式会社コバヤシ
8	廃棄された農・林・水産品由来のバイオプラスチック (HEMIX TM)	株式会社事業革新パートナーズ
9	放射冷却素材 (SPACECOOL®)	SPACECOOL 株式会社
10	電気自動車のバッテリーのリユース、ペットボトル回収・再 生利用	株式会社セブン&アイ・ホールディン グス
11	産業廃棄物リサイクルと再生燃料	株式会社ダイセキ
12	グラントミル・PLA サンドチューブ	株式会社トロムソ
13	地域森林資源を活用したグリーンファイナリー構想	日揮ホールディングス株式会社
14-1	リソース アグリゲーション サービス	日本電気株式会社
14-2	GreenGlobeX	
15	ヒートポンプ式給湯暖房・冷房機	パナソニックホールディングス株式会 社
16	高圧直流送電、水素・ハイブリッドトレイン	日立グループ
17	廃棄物発電、メタネーション、水素発生装置、下水汚泥処理	日立造船株式会社
18	レドックスフロー電池	プライム・スター株式会社
19	紙を用いた繊維強化技術によるプラスチックリサイクル	古河電気工業株式会社
20	フラクタルひよけ「こもれび」	株式会社ロスフィー